

「交通ネットワークを有効活用した健全なまちづくり計画」 【鹿児島県・日置市】

計画概要

南九州西回り自動車道の整備により伊集院・美山インターチェンジが開設され、さらに地域間の交通ネットワークを整備し、各インターチェンジからのアクセスを向上させるために市道と林道の一体的な整備を行うことで、健全な市街地の形成と農山村地域の生活環境を改善することにより、地域全体の再活性化を図る。

地域再生計画の区域 日置市及びいちき串木野市の全域

計画期間 平成27年度～平成31年度

地域再生計画の目標

項目	現状	目標
運動総合公園施設の利用者数の増加	900千人	945千人
日置市内物産館出荷取扱額の増加	1,753百万円	1,800百万円
素材(木材)生産量の増加	20千m ³	21千m ³

※最終年度に事後評価検討会を実施し、目標の達成状況を確認し公表。

目標達成のために行う事業

〈道整備交付金〉

市道：78.5km、林道：2.0km

総事業費 5,940百万円(うち国費 2,453百万円)

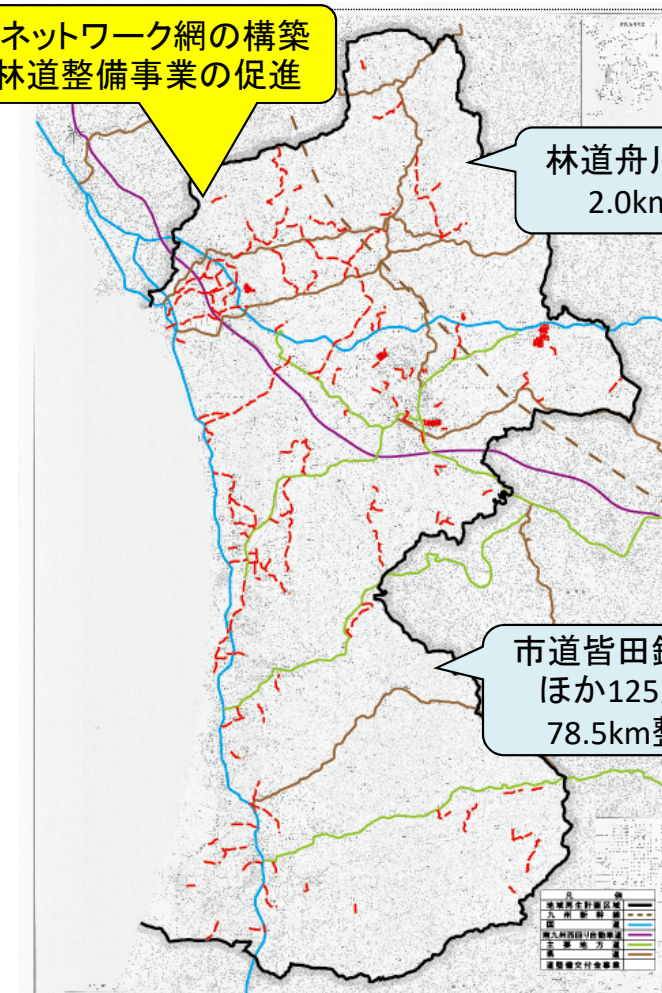
市道 4,595百万円(うち国費 2,298百万円)

林道 345百万円(うち国費 155百万円)

地域間ネットワーク網の構築
市道・林道整備事業の促進

林道舟川野下線
2.0km整備

市道皆田鉾谷線
ほか125路線
78.5km整備



「地域再生基盤強化交付金」を活用した地域再生計画（鹿児島県、日置市）

交通ネットワークを有効活用した 健全なまちづくり計画

作成主体	鹿児島県、日置市
区域	日置市及びいちき串木野市の全域
計画期間	H27～31年度



◆背景

・市町村合併に伴い旧町間を接続する広域農道や市道の整備を行ったところであるが、主要な幹線道路の整備は進んだものの、各地の総合運動公園施設へアクセスする道路や各集落間を結ぶその他の市道が3m程度と狭い路線が多いことや、老朽化による路面浸食等で地域における交通の円滑化に支障を来しているところである。

◆目標

・広域的なネットワークを構築するために市道と林道の一体的な整備を行うことで、健全な市街地の形成と農山村地域の生活環境を改善することにより、地域全体の再活性化を図ることを目的とし、地域の相互交流人口や物産館出荷取扱額及び素材(木材)生産量を増やすことを目指す。

【数値目標】

- ・総合運動公園施設の利用者数の増加
900千人／年（H25）→ 945千人／年（H31）
- ・日置市内物産館出荷取扱額の増加
1,753百万円（H25）→ 1,800百万円（H31）
- ・素材(木材)生産量の向上
20千m³（H25）→ 21千m³（H31）



伊集院総合運動公園



吹上浜運動公園



◆取組

○市道及び林道の整備

市道 道路延長 78.5km

林道 道路延長 2.0km

【道整備交付金（内閣府）】

総事業費 4,940百万円（うち国費 2,453百万）